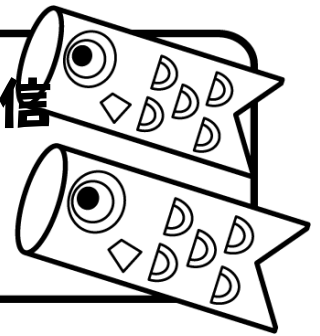


青木村子どもはつらつネットワーク通信

令和7年度 第234号 5月1日
青木村子どもはつらつネットワーク事務局発行



今年度の保小中の重点目標を保育園長、小中学校長にお伺いしました。

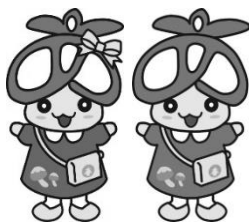


令和7年度 青木村保育園の保育目標

園長 成沢 亮子

青木村保育園長の成沢亮子と申します。本年度も引き続きよろしく願いいたします。

令和7年度の園児数は、119名（年長児32名、年中児28名、年少児29名、未満児30名）からのスタートとなっています。このうち24名のお子さんが新たに入園し、未満児における



年度の途中入所児は4名を予定しています。

本年度も未満児による入所は多く、加えて3歳以上児の人数も3学年とも30名前後という学年編成となっています。3歳以上児のパワフルな笑顔と未満児のかわいらしい笑顔が入り混じり令和7年度の幕開けとなりました。

さて、青木村保育園では昨年度、保育所一般保育士等研修会が開かれ公開保育を行いました。その中で再認識をしたあおきっ子広場の活動から目指す子ども像「子どもの好奇心を引出す自発性のある保育とは？」について3項目ご紹介いたします。

- ① 子どもには自ら育ち、今の自分を成長させていく、超えていく力があるということ
- ② 一定の力が育ってくると試したくなる（探索する）こと
- ③ 体を使い思考力のバランスを日々の生活から体験として積むことで子どもの全体を発達させていくということ

これらの力を育みながら、保育とは子どもと保育者が共主体で行っていく大切さを学びました。本年度も日々、子どもたちに問いかけ子どもたちと一緒に進めていく保育。そんな保育を大事にしながら温かい“笑顔あふれる保育園”～遊びに挑戦する子どもたち～“（保育目標）に努めていきたいと思います。



この他にも小中学校との連携、地域の皆様との交流をとおして多くの皆様に見守られ子どもたちの成長が育まれています。本年度も子どもたちの笑顔と共に歩んで参りたいと思いますので、引き続きお力添えをお願いいたします。



また、あおきっ子の活動についてはホームページ「信州やまほいく」を検索いただくとご覧いただけます。県よりやまほいく認定をいただき、恵まれた青木村の自然資源をたっぷり活用した保育活動が随時更新されていますので、あおきっ子の四季折々のかわいい姿をご覧ください。

さっそくですが、4月最初のあおきっ子たちの広場活動の姿をご覧ください。



あおきっ子広場



「見て見て！橋作ったよ。」橋が落ちないように下には木の枝が沢山敷き詰められていました。



「ここには、おたまじゃくしがいるんだよ。」



春満開のあおきっ子広場活動が始まりました！！
ようやく春めいてきた4月〇日。広場に出掛けると、さっそく子どもたちの遊びの創造が爆発していました。



「これは何？」「仏様だよ。」「へへ～仏さまになむなむしてるんだ。」
葉っぱのお供え物もありますよ。

『笑顔あふれる保育園』～遊びに挑戦する子どもたち～は、今年も新しい発見を求めて元気いっぱいです！！



令和7年度 青木小学校学校運営の重点

校長 御手洗 博一

青木小学校校長2年目となります、御手洗博一（みたらい ひろいち）と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本年度は、27 名の新1 年生を迎え、全校 168 名でスタートいたしました。学校教育目標『あかるい子 かしい子 たくましい子』の具現に向け、168 名の全校児童一人一人にとって居心地のよい学校、一人一人の強みと一人一人がもつ“わたしならではの”がより一層際立ち、全校がつながり、多様な他者との出会いが生まれる学校づくりを、全ての職員が一丸となり目指してまいります。もちろん、多様な他者には地域の皆様も含まれます。地域の皆様のお力添え、よろしくお願いいたします。



以下、学校教育目標ならびに教職員の心構えについて述べさせていただきます。

（1）学校教育目標 “3つの根っこ”を伸ばす



① あかるい子 ～人を大切にする力～

他者の目には見えない心（内面・感情）を見ようと、あるいは感じようとし、関わる他者の喜怒哀楽を自分のことのように感じられ、共感できる子の育成を目指す。

お互いを尊重し、相手の思いを感じ取ろうとする根っこを伸ばす

② かしい子 ～学び続ける力～

一人一人の「なぜ」や「知りたい」「やってみたい」を大事にし、自分の言葉で語り、友と一緒に自分の考えを深め、新たな発見を繰り返していく子の育成を目指す。

「なぜ」「どうして」を大切に、一人でもみんななどでも
とことん追究していく根っこを伸ばす

③ たくましい子 ～チャレンジする力～

各学年学級の中核活動（その学年学級ならではの活動）の中から生まれる多様な他者とのかかわりを自ら求め、よりよい関係を自らつくろうとする子の育成を目指す。



中核活動から生まれる出会い(出会い)を大切に、
自ら他者(ひと)と関わろうとする根っこを伸ばす

(2) 教職員の心構え

子どもと共に在る者として、以下のことを大切にしながら、地域に根ざした教育を進めて参ります。

- ① 教師主導の授業から、子ども主体の授業づくりに徹する。
- ② 地域に学び、地域のもの・ひと・ことに触れながら、地域まるごとをフィールドにする学びの推進。
- ③ 教育公務員としての自覚を持ち、地域に信頼される学校のために、同僚性を発揮し、非違行為を根絶する。



「地域の子は地域で育てる」と言われます。今年度は、“お仕事ゼミ”と題し、地域で働く方をお招きし、地域の方と直にかかわり、自分自身の夢をより明確に抱くことにつながる機会を設けます。子どもたちをよろしくお願いいたします。



令和7年度 青木中学校教育活動の重点

校長 千野 布美子

今年度より青木中学校の校長としてお世話になります。千野布美子(ちのふみこ)と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本年度は、30 名の新入生を迎え、全校生徒 83 名でスタートいたしました。

今年度も全ての学年で複数担任制を実施します。生徒の多様性を受け入れ、多くの職員が目で見ることができるよう、より一層強固なチーム体制で支援してまいります。

以下、今年度の教育活動の重点を中心に述べさせていただきます。



(1) 「実現したい5つの姿」と「青木中職員3+1ポイント」

学校教育目標「強い意志・思いやり・郷土愛」をうけ、生徒が意識し、日々の学校生活を通して達成していくことのできる具体目標として、右の5つの姿を大切にしています。青木中学校の伝統としていきたいものです。併せて全職員が取り組むこととして、下の3+1ポイントを

実現したい5つの姿

- ① 学び合い
- ② 伝えよう、心の挨拶
- ③ 心を磨く清掃
- ④ 心に響く歌声
- ⑤ 心を耕す読書

掲げています。

生徒、職員ともに心をつに、日々の生活の中で青木中のよき伝統となるよう取り組んでまいります。

青木中職員3+1ポイント

- ① 自ら、同僚や生徒にさわやかな挨拶をする。②朝の時間・清掃・給食は生徒と共に行動。
② ③授業時間・会合の時間を厳守する。 +①生徒への温かなまなざし・言葉がけ



(2)「探究」を中心に、主体的な生徒の育成を目指します

自分の未来を、自分の力で切り拓こう～学校って意外と楽しい！～

- 未知への好奇心を育てよう・・・豊かな発想をもって探究しよう
- 自分の力を信じて挑戦しよう・・・一歩前へ、自分の可能性を試そう
- 違いを認め共に成長しよう・・・みんなの違いが、新しい景色を生む
- 地域や世界とつながろう・・・地域の中で学び、世界の中で羽ばたこう

今年度の本校のスローガンとその実現のために大切にしたい4点です。

社会の変化が激しく、未来の予測が難しくなっている今、子どもたちにとって必要とされる力も大きく変わってきました。知識を覚えるだけでなく、問いを立て、情報を集め、仲間と対話を重ねながら考えを深めていく「探究的な学び」が、これからの時代を生きる力として注目されています。青木中学校でも、「探究」に力を入れていきます。子どもたちは正解のある問いだけでなく、簡単には答えの出ない問いに向き合い、自分なりの「納得解」を見つけていきます。青木中学校の目指す授業の姿が「LINK」です。





昨年度行っていた「セルフスタディ」が「セルフスタディ探究」へバージョンアップしました。水曜日の朝の「セルフスタディ探究（セルス探）」の時間は生徒が自分の学びたいことを追究する時間です。また、各教科でも、生徒が主役になる「T30×F5（追究 30 分×振り返り 5 分）」の授業を構想していきます。生徒も先生も上記の図のリングをお互いに回すことで、学びのサイクルを加速させ、生徒が輝く授業を目指します。授業と授業をセルフスタディ探究でつなげることで、生徒の学びは「流れ」となり、確かな力になると考えています。

併せて、各教科で、1 年に数回は生徒が自ら問いを立て、仮説を立て、調べ、考察し、発表する探究学習を計画していきます。図の生徒サイクルを生徒の力だけで回す学習です。日頃の「T30×F5」の授業と探究学習を両立させることで、「主体的に学ぶ」「自分にあった学習のしかたを自分で見つけていく」生徒の姿を目指します。そのことが、「自分の未来を、自分の力で切り拓く」姿につながり、青木村の目指す「社会力」につながると考えています。

授業（総合的な学習の時間をふくめ）でも授業以外（生徒会や部活動）でも、生徒が見つけた問いを徹底的に探究できるよう、授業でも、生徒の疑問や願い、想いを大切にしていきます。生徒が、失敗を恐れず、何度でもチャレンジできる環境を整えたいと考えています。生徒が様々なことにチャレンジしていく中で、自分の可能性に気づき、自らの強みを存分に発揮できる学校を目指します。

（3）安心して過ごせる青木中学校に

さまざまな教育活動の土台となるのは、生徒が安心安全に過ごせる学校づくりです。お互いを認め合い、人権を大切にする温かな環境のなかでこそ、生徒は安心して学び、成長することができます。心理的安全性の確保や人権を尊重する関係づくりに、今後もしかりに力を入れて取り組んでまいります。生徒だけでなく、職員も同僚性を発揮して温かい職員集団づくりに努め、地域の皆様に信頼される学校づくりを進めてまいります。

本年度も教職員一同、精一杯努めてまいります。保護者の皆様、地域の皆様、引き続きご理解とご協力、お力添えの程、よろしくお願いいたします。



今年も新年度が始まり、気持ちも新たにあおきっ子たちをみんなで見守り、学校、保育園を応援していきましょう。

今月号と一緒に「2025年度青木村の教育」「あおきっ子教育ポイント5か条」を配布いたしましたので合わせてご覧ください。

